隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.87
2014.05.02

特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山県 NPO サポートセンター

「NPO 法人を設立したい」「NPO ってなにか知りたい」「NPO・ボランティア活動に関する情報を広く発信したい」「活動のチラシの印刷や長尺プリントをしたい」

…サポセンはそんな活動を応援する施設です。是非お越し下さい。

月曜～土曜　9:00 ～ 20:50
日曜　9:00 ～ 17:30（月曜・祝祭日休館）

わかやま NPO 広場　検索

自然の中、のびのび子育てスペースに農園を開放

2 年にわたり実施した「親子で自給自足体験！食育プロジェクト＆菜の花プロジェクト」が昨年度、わかやま市民協働大賞を受賞。栽培、収穫、加工などを体験できる食育プロジェクトを継続しながら、今年度はさらに、農園を子育て広場として開放する里山保育プロジェクトを実施。農業をベースに活動の幅を広げる、NPO 法人にこにこのうえんをご紹介！

農業をベースに社会貢献を

紀伊と六十谷の間、幹線道路からごく近い場所。民家の間を抜けて少し山に入っただけで驚くほど静かな心地よい空間が現れます。まさにヒミツの遊び場を見つけた子どものような気分に！ヤギが草を食む広場、ここが、にこにこのうえんの本拠地です。

「10年ほどの間に耕作地は3町になりました」と、代表の吉川誠人さん。約1ヘクタール、3000坪の広さ。無農薬、無肥料または最小限の有機肥料、米や野菜など多品目栽培、さらに耕地は点在…と、気の遠くなるような手間暇かかる農作業を数人のスタッフでこなしています。大事に育てた作物は、ネットなどを通して販売、遠方のリピーターも少なくありません。赤米、黒米などミックスした「色々米」は、高松のメッサオークワやイオンモールの産直市場「よってって」に出荷しています。

奥様の幸子さんと二人で新規に始めた農業ですが、職を求めていた青年が手伝いに来てくれたり、子どもたちを集めて田植えや収穫をイベント的に行ったり…。そんな経験の中から、農業が社会的な活動につながっていくと実感し、3年前にNPO法人としてあらたにスタートを切りました。

代表の吉川誠人さんと幸子さん夫妻、そして次女の喜子ちゃん

ストローベイルハウスを拠点に

昨年度まで実施していた食育プロジェクトは大好評で、今後も1月に1度のペースで開催を予定。さらに9月からは「里山保育と手仕事の会～自主保育応援プロジェクト～」として、平日に農園を開放し、自然の中での育児、子育て世代の交流スペースに。そこで拠点となるのが、今建設中のストローベイルハウス。いわゆる藁（わら）の家で、保温性に優れ、夏は涼しく、冬暖かい、快適な空間になります。

菜園や山羊のいる広場で自由に遊ぶ子どもたちの横で、ゆっくり親も交流できるように、カフェやレストランの設置も計画。現在もイベントで使っている手作りの石窯でピザを焼き、収穫物で料理をします。幸子さんは、山羊のチーズ作りに奮闘中。自家製山羊チーズのピザも期待できそうです。

また、持ち運びできる石窯を新たに作り、それを掲げてマーケット参戦も。まずは5月18日、ぶらくり丁のマーケットの日に、石窯ピザが登場予定。楽しみです。

収益を上げて活動を安定

有機無農薬多品目栽培といえば、最もコストがかかる農業です。青果販売だけでは利益を出すのは難しいので、活動を継続させるためには、次の段階のことを考えないといけないと、吉川さん。野菜やお米もそのままではそれだけの値段だけれど、料理すると付加価値がつく。食べるものを提供すること…。自家農園で採れたものを使って料理し、夜にお酒を飲みながらゆったり楽しめる居酒屋などを運営しながら、にこにこのうえんとして、環境保全型の農業、子どもの農業体験、青年の就労支援を継続していきたいと言います。

さらに、天ぷら油などの廃食油のリサイクルにも取り組んでおり、トラクターの燃料として利用しています。どんどん廃食油が集まってきているので、今考えているのは、それで発電機を動かして電気を生み出すことです。

どんどん思いが広がる吉川さん。体育学部出身、陸上競技で鍛えたガッツで一つ一つをクリアしていきます。まずは、ストローベイルハウスの完成が待ち遠しいところ。スタッフでこつこつ仕上げていますが、興味のある方は、この癒しの農園に遊びに行ったついでに、藁積みに参加してみませんか。

（西浦浩子）

（左上）ストローベイル。藁で包まれた快適な空間ができていきます。
（左）山羊は 4 匹。ミルクを搾るのは幸子さんの仕事。
（右）子どもたちも参加して作った自家製石窯。

NPO 法人　にこにこのうえん
URL　http://nikonikonouen.com/
TEL/FAX　073-432-7016

県内 NPO 法人を「数」で分析しました

今年 3 月 31 日時点で和歌山県認証の NPO 法人は 371。その内訳をみてみましょう。

市町村別 NPO 法人数 TOP5

第 1 位　和歌山市　172
第 2 位　田辺市　44　第 3 位　橋本市　24
第 4 位　紀の川市　20　第 5 位　海南市　14

県内人口の 4 割弱を占める和歌山市に半分弱の NPO 法人が集中しているなど、人口が多い市部で NPO 法人が多いことが数字の上からもわかります。それを人口比に置き換えるとどうなるでしょうか。

4 月 1 日時点で各市町村がウェブサイトで公開している最新の市町村人口をもとに、人口 1 万人あたりの NPO 法人数を算出しますと以下の通りになります。

第 1 位　北山村　21.01
第 2 位　田辺市　5.54　第 3 位　和歌山市　4.71
第 4 位　由良町　4.66　第 5 位　すさみ町　4.34

田辺市、和歌山市以外にも町村が上位にあがってきます。このことからも全県的に NPO 法人が分布していることがわかります。

和歌山県の NPO 法人数の水準は？

和歌山県の NPO 法人数は全国の NPO 法人数の約 7.6%（2014 年 2 月 28 日現在）に相当しますが、これって多いの？少ないの？ということで、2012 年度の総務省統計による都道府県人口をもとに 10 万人あたりの NPO 法人数を調べてみますと・・・

第 1 位　東京都　70.47　第 2 位　鹿児島県 49.82
第 3 位　山梨県　49.65　第 4 位　京都府　49.64
第 5 位　長野県　44.37　・・・と続き、
第 19 位　和歌山県　37.55 と、なっています。かつては TOP10 に入っていたこともありましたが、2012 年 4 月の法改正で内閣府認証 NPO 法人の所轄庁が都道府県・政令指定都市に変更になったことを受けて相対的に順位を下げることとなりました。しかしながら、全国的に見ると和歌山県は NPO 法人数が多い県になることがわかります。

NPO 法人の活動分野

2012 年 4 月法改正で NPO 法人の活動分野は 3 つ追加され、合計 20 分野になりました。NPO 法人は法律に定められた分野のなかから、1 つ以上の活動分野を定めることが求められています。和歌山県内の NPO 法人が定款に掲げている活動分野を数えてみましたところ、右の表のような結果となりました。上位 5 分野はここ数年変化はありませんが、今回の調査ではじめて「まちづくりの推進を図る活動」を掲げる法人数が「福祉の増進」を抜いてトップとなりました。

最近は「経済活動の活性化」や「職業能力の開発」を掲げる団体が、また 2011 年の東日本大震災と紀伊半島大水害以降は「災害救援活動」を掲げる法人が、それぞれ増えています。

NPO 法人は行政の公共的サービスや既存の企業活動ではまかないきれない地域の「こまりごと」の解決に当たる事業体ですので、NPO 法人の実態を分析すると、その地域で求められていることがみえてくるかもしれません。

NPO 法で定める活動分野（複数回答）	法人数	割合
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	236	63.6%
社会教育の推進を図る活動	199	53.6%
まちづくりの推進を図る活動	245	66.0%
観光の振興を図る活動	19	5.1%
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	22	5.9%
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	175	47.2%
環境の保全を図る活動	153	41.2%
災害救援活動	62	16.7%
地域安全活動	99	26.7%
人権の擁護又は平和の推進を図る活動	118	31.8%
国際協力の活動	77	20.8%
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	59	15.9%
子どもの健全育成を図る活動	212	57.1%
情報化社会の発展を図る活動	66	17.8%
科学技術の振興を図る活動	38	10.2%
経済活動の活性化を図る活動	119	32.1%
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	132	35.6%
消費者の保護を図る活動	39	10.5%
前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	223	60.1%
前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	11	3.0%

みんなでつくる情報板

わかやまイベントボード

●若者サポステ出張相談

働くことに不安のある若者や、保護者の方の相談に応え、各種支援プログラムによりサポートします。
日時　5 月 7 日（水）
10:00 ～ 16:00
場所　海南市民会館 1 階集会室
内容　相談時間は 1 組 40 分、最終受付は 15 時。当日受付も可能ですができるだけ事前に申込みを。
相談料　無料
申込み・問い合わせ　若者サポートステーションわかやま（073-427-3500）
備考　ほかにも県内各地で出張相談を実施中。

●第 24 回南方熊楠賞授賞式

第 24 回南方熊楠賞授賞式のほか、受賞者の石毛直道さんによる講演も。
日程　5 月 10 日（土）13:30 ～
場所　紀南文化会館 4F 小ホール（田辺市）
テーマ　世界にひろがる日本食
入場料　無料（申込み必要）
申込み・問い合わせ　南方熊楠顕彰会事務局（0739-26-9909）
備考　同日 17 時から記念パーティあり（参加費 3,000 円）。参加希望は事前に申込みを。

●講演会「行政と民間企業の協業のあり方」

行政が持つデータの活用を民間に広げる際の利点と課題などを考えます。
日時　5 月 16 日（金）
14:00 ～ 16:30
場所　和歌山市あいあいセンター 6 階ホール
登壇者　野田和徳さん（奈良県総務部情報システム課課長）、満田成紀さん（和歌山大学システム工学部准教授）、森本浩之さん（松阪市 CIO 補佐官）など
参加費　無料（申込み必要）
申込み・問い合わせ　和歌山県情報化推進協議会（073-428-2688）参加申込みは 14 日締切。

●マルシェ・ド・プティパ

手作り雑貨やアートに特化した雑貨市。アコースティックライブや野菜市なども。
日時　5 月 18 日（日）
11:00 ～ 16:00
場所　北ブラクリ丁商店街
入場料　無料
問い合わせ　マルシェドプティパ実行委員会（073-435-0560）
備考　同日同時刻には、手づくりとロハスをテーマにした「ポポロハスマーケット」が中ブラクリ丁・ポポロビル前で開催。

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC 版　http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版　http://eventboard.shiminjuku.jp/m/